



謹賀新年



第630号

発行所

天理教静岡教務支庁
〒425-0013
焼津市岡当目1番地
TEL (054) 626-1333
FAX (054) 628-4615
Email:skyou@live.jp

教区報は、下のQRコードより、スマートフォン等で、ご覧頂けます。



親にご安心いただく道を

素直に通ろう

静岡教区長 鈴木 道輝

新年明けましておめでとうございます。旧年中は依然として世界にお見せいただく事情の中にも、教会長はじめ教区管内の皆様方のお力添えを賜り、時旬の御用を恙無くつとめ切らせていただくことができました。誠にありがとうございました。

先日、朝づとめ中に地震がありました。震源地は山梨県で、教会のある沼津でも震度3の揺れを観測したそうです。私は鈍感なのか、地震に気づきませんでした。後ろで参拝している方々は、みな不

安に思われたようです。私たちが静岡県人は、何十年前も前から東海地震への備えと覚悟を周知徹底されてきました。私が小学生の頃、学校の椅子に防災頭巾を座布団の代わりに敷くのは当たり前のことでした。たし、避難訓練もたびたびありました。他の地域では当たり前でないことを知ったのは、それからだ。いぶ後のことでした。今も地震が起きるたびに「とうとう来たか」と最悪の事態を想像してしまいます。やはり地震は怖いものですね。

ところで、「地震・雷・火事・オヤジ」という言葉があります。昔の人は怖いものの例えをこう表しましたが、かつて二代真柱様は、「これは怖い順番に並んでいるのだ」と話を起こされました。確かに、「地震」は何時どこで、どのくらい揺れるかを誰も予測できませんから、一番怖いものです。次の「雷」も何時どこに落ちるか分かりませんが、雲ひとつない空から雷が落ちることはありません。雨雲が張り出し、ゴロゴロと音が聞こえてくると危ないと分かれます。だから雷が二番目になります。「火事」も怖いものですが、火の用心という言葉があるように、用心があれば大抵は防げるものなので、三番目に怖い。そして、最後が「オヤジ」です。今の若い人たちからすれば、怖いものの中にお父さんが入ることに違和感を覚えるかもしれません。昔のお父さんは怖かったです。親から怒られることを「雷を落とされる」などと言ったものです。雷オヤジという言葉もありました。

二代真柱様は、「せめて親からは雷を落とされないように、親に心配かけないように通らせていただきます。」と話を結ばれたのです。考えてみますと、地震や雷とは違い、私たちは親から怒られないようにするにはどうしたら良いのかを知っています。親に心配かけない通り方を分かっているのです。それぞれ、親に喜んでもらうか、親に喜んでもらう通り方だ。知っています。ですから、親孝行はその気になったのなら、今からでも誰にでもできることなのです。

さて、只今のコロナ禍も足掛け三年となります。世界にお見せいただく事情はすべて親



は三割そこそこと思います。支部例会では、身上などで出て来れない教会長さんがおられるとは言え、五十パーセント以上の教会長が毎月集まる場ということになり、他のどの機会と比べても、非常に良い場だと思えます。その支部例会がただ単に連絡事項、伝達事項で終わったのではもったいない。何か教会長がそこで教えに触れるような場、学びを深めてもらえるような場を

作っていかうと来年度は地域の上から進めさせていただく、また、おぢばの声に添って皆様方にもこれから相談を進めて頂くこうと考えております。

来年は教祖百四十年祭に向かう入口の年であり。まだまだ続くコロナ禍の中かもしれないけれども、これから出来ない、難しいと言っている一年であるという事、お互いしっかりと心に置いて、

静岡教区、一手一つに心を揃えて成人の道を歩ませていただきたく存じます。」とあいさつされた。

続いて教区長司会の元、令和四年度の教務支庁の予算審議が進められ、永井磨会計室長より内容の発表、説明があり、この件について出席

地方委員の全会一致で可決・承認された。

続いて各部から発表がなされ、村田孝浩少年会教区団長より、昨年引き続き本年もコロナ禍のため「こどもおぢばがえり」「少年会総会」など育成行事が中止となる中、何とか育成への取り組みとして三月に「わかぎの集い」を開催する旨を発表、説明がなされた。

続いて災救援隊より、まづ七月三日に発生した熱海の土石流災害に触れ、出動準備は出来ていたものの、現場の特殊な事情により出動出来なかったこと、また先日十月三十一日に行われた「小笠山運動公園（エコパ）」での訓練について、七十七名の隊員が勇んでひのきしんをとつとめ、関係者に多いに喜ばれたこと報告した。つづいて学生担当委員会岡野多吉委員長より、活動が停止してしまつた学生会の再開を目指して学生

層の発掘のための企画として「サマースクール同窓会」が募集要項とともに発表された。

続いて「道の教職員」より、この度本部布教部が主催して全教的に活動を展開することを終了することを受けて、静岡教区としては長い伝統もあるので自主的

に活動していくことを表明。そして三月に例年通り、子育て講演会を開催する旨を発表された。また教務部からは、この度、本部の教務部より表統領宛の願書（主に宗教法人課扱いの願書）について、書式が変更された旨発表され来年は五年任期

の「責任役員変更届」提出の年であることも加えられた。

最後に書記より全体会議出席者数を発表、これにより議事が成立したことを報告後、教区長の手により親神様、教祖、祖霊様を礼拝して終了した。

教務支庁大掃除 西駿支部実施



西駿支部（小池善彦支部長）は、十二月四日恒例の教務支庁の大掃除を行った。

西駿支部は、焼津市に教務支庁設置されてから長年にわたり教務支庁の大掃除を実施している。

日頃はなかなか手の届かぬ蛍光管の掃除、エアコンの掃除、二階神殿の畳のから拭き、窓ガラスの拭き取り掃除など神殿棟、研修棟の掃除を行った。

支部内の教会長、婦人会員、青年会員三十余名が勇んで参加した。





2/6 (sun)
13:00~

あの時の友とまた会えるチャンス
 今だから 今しかできない思い出を作る
 申込は右記のQRコードから
場所：山名大教会



問い合わせ：静岡教区学生担当委員会 TEL 090-1479-7369